

○令和6年2月2日 経済委員会の第3回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年度テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

経済委員会では今年度のテーマを「小規模事業者・中小企業の経営革新について」、「地域資源を活用した交流人口の回復・拡大について」及び「農業の担い手確保策と生産基盤の整備について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、讚州井筒屋敷（東かがわ市引田）を訪問し、施設の概要や沿革、施設の魅力を生かしたイベントの開催など誘客促進の取組や、2025年の瀬戸内国際芸術祭を契機とした展開について説明を受け、質疑を行った後、母屋等を視察しました。



次に、風呂農園（さぬき市津田町）を訪問し、経営の概要や沿革、ロックウール養液栽培システムによるミニトマト栽培や環境モニタリングシステムを導入したスマート農業の取組、若手育成について説明を受け、質疑を行った後、農園を視察しました。



最後に、建ロボテック株式会社（木田郡三木町）を訪問し、建設現場が抱える課題解決のため、人とともに働く協働型ロボットを中心とした省人化・省力化ソリューションの提供について説明を受け、質疑を行った後、製品開発現場の視察を行いました。

